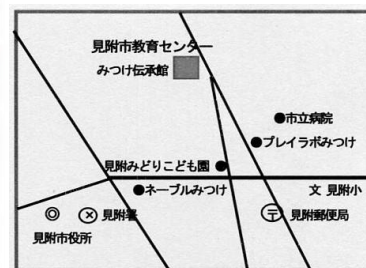


見附市教育センターだより



見附市学校町 2-7-9

電話／Fax 0258-62-2343

E-mailmrise n@mitsuke-ngt.ed.jp

令和6年12月19日 NO.9

手づくりばっか市

11月24日：ネーブルみつけ

見附市小学校校長会 会長 後藤 正美



当日の会場内外は、晴れやかな若者の姿で実に華やか。懐かしさのあまり大声で会話する姿も見られました。ところが、式典が始まるとピタッと会話をやめ、稲田市長の祝辞をしっかりと聞いています。企画したアトラクションでは、さわやかに盛り上げる姿も見られました。とても心地よい空間で、見附っ子が立派に独り立ちしている姿に感銘を受けました。目の前にいる小学生も数年後には、あのような姿で参列できるように育てたいと改めて感じました。

WBC 日本代表の栗山前監督は、全連小校長会「75 周年記念誌」で、次のように述べています。

若手は未熟かもしれませんが、できることがたくさんあります。大学で最新の教育を学んでいるので、柔軟な発想もあります。上下関係による一方的な指導は、若手本人へ批判が向いてしまい、やりがいを感じさせにくいかもしれません。教材や掲示物を一緒に作る、教室を一緒に掃除するなど、時間を共有しながら互いに高め合う姿勢が人材育成には大切です。これからの教師は、若手を育成する人材育成力も、授業力と同じくらい大切な力量なのです。

今年の成人式に参列していた一人が、偶然に当校の教育実習に来ました。短期間で多くのことを吸収していく教育実習生。未来の教育を担う頼もしさと、「若者の成長スピードには勝てないなあ。」という驚きを、改めて感じて嬉しくなりました。

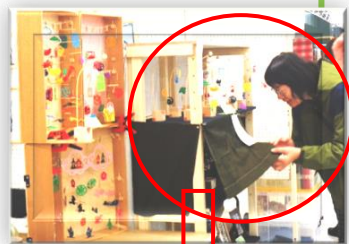
巻頭写真に寄せて **これが趣味？手づくり作品に感動です**

◇巻頭写真は、11月23日(土)24日(日)、ネーブルみつけで開催された『手づくりばっか市』です。市内外の手づくり作家の雑貨やアクセサリー、布小物、木工品等、手づくりの温かみあふれる作品が並んでいました。「手づくりばっか市」は、恒例になっており多くの来場者で賑わっていました。出店をする作家も増え、今年は二日間で、100店を超えたとのことでした。

◇さて、出店者の中に紙切作家の友人がおり、その店を尋ねるとお客さんが黒い布(右写真上)を覗いています。中は行燈の切り絵でした。昨年は、季節感いっぱい切り絵を、左右に2段3段にしたやじろべいや、額縁に入れた招き猫の切り絵等の作品が中心でしたが、今年は、この行燈が目玉のようでした。「新しい作品づくりは大変だろう？」と尋ねると、「新たな作品を通して、お客さんと話が出来ることが何よりも楽しい。」とのこと。どの出店者も、趣味の作品づくりの延長線上の出店なのでしょうが、皆さん同じ気持ちで製作をされているのでしょう。

種々の手づくり作品に、感動をいただいた一日でした。

◇手づくり作品での感動は、師がくで訪れる学級でも驚きの作品(右写真)を見ました。これは、6年生Aさんの折り紙作品です。折り紙でクレヨンしんちゃんや名探偵コナン等のアニメの登場人物を折り、マジックで目や表情を描いたものです。あまりの上手さに驚いていると他の子どもが、「これを見て」と言うのです。ドロップの飴の缶や歯磨きのチューブ等も折り紙で作ってあるのですが、缶の中からは色とりどりの飴が、チューブを押すと中から歯磨き粉が出てくるのです。出来栄えの凄さに腰を抜かしそうになりました。Aさんは、もう立派な手づくり職人さんです。



Aさん折り紙作品



コラム …… 私の趣味は、友人の作品に学び、心豊かに ……

◇皆さんは一生懸命に打ち込めるものはありますか。私はこれといった趣味や特技がありません。ましてや文才はあるはずもなく、毎月このコラム欄の執筆に苦心しています。

◇さて、友人には、多彩な才能を持つ者がいて羨ましいです。手先の器用な友人(上述の紙切作家)は退職後、切り絵の趣味を生かして、今では生業にしています。短歌や短編小説を書く友人は本を出版したり、新聞に投稿をしたりしています。彼の歌を文芸欄でさがす中で、何人もの知人を俳句や短歌、川柳の欄で見つけました。『窓』欄の投稿者でも知人を見つけます。また、退職後に趣味の書道を本格的に始め、県展で奨励賞に入った者。陶芸や絵画、写真等、様々な芸術の分野で頑張っている者が大勢います。

◇自分の日常を顧みると、家庭菜園の野菜づくりが趣味かと言えば、ホームセンターの苗を買ってきて植えっぱなしで、休日の草取りが趣味？では、あまりに寂しい。何かをやらなくては焦ったこともありましたが、新聞紙上で、友人や知人の作品や考えに学ぶこと。これも趣味なのではないかと考えました。そして、県展をはじめ展覧会や作品展、催物が各地で開かれます。そこで、知り合いの作品や優れた芸術作品を鑑賞する。他人の優れたものに学んだり、心豊かになったりすることも、なかなか良い趣味ではないかと今は思っています。知人たちの作品に学ぶ趣味を続けていきたいものです。

忙しい毎日の皆さんは年末年始、自分の好きなことに打ち込めるといいですね。(こ)

4時から夢塾 『カエル跳びゲーム』に夢中になる

第12回「4時から夢塾」を11月21日(木)に、新潟大学附属長岡中学校の白井康智先生から、西中学校3年4組で、数学の示範授業「多項式の計算」の指導を行って頂いた。授業の様子を簡単に記す。

1 授業の様子 『ペグゲームーカエル跳びゲームー』

ねらい・ゲームを通して、カエルの数と移動回数との関係を見いだすとともに、その関係を文字式を用いて表現することができる。

(1) 展開 <カエル跳びゲーム>

○隣り合っているときは入れ替わることができる。



課題1：課題を入れ替えることのできる最小回数は？ <1対1の図>

- ・ただ入れ替わるだけだから、1回でできる。
- 2対2(2匹ずつ)だったらどうなるか考える。
- ・4回で入れ替わることができる。
- ・頭の中でできない。具体物を使ってやりたい。←白黒ボタンを渡す。
- ・3対3、4対4の場合を考える。⇒「規則性がありそうだ。」
- ・5対5の場合を考える。⇒5対5の時は、 $5 \times 5 = 25$ 回だと思う。

○見いだした関係が成り立つ理由を考え、説明をさせる。

課題2：条件を変更し、問題を発展させて規則性を見いださせる。

○葉っぱが空いていれば1つ進む。異なる色なら

跳び越えることができる。1対1の最小回数は3回。

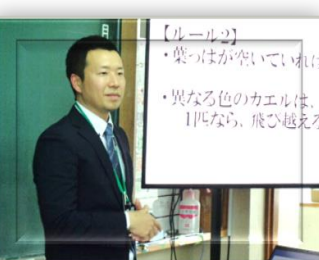


○4対4まで操作活動で確認し、5対5を、その規則性から見いだす。

2 ミニ講座・白井先生より、本時の授業を振り返っての説明やペグゲームの紹介があった。その後、参加者で算数・数学の授業の悩み等の情報交換を行い、白井先生から指導を頂いた。



白井康智 先生



- <参加者の声>**
- ・生徒の思考する時間に注目した。教師はルールを提示し、やり方を教えるのではなく、支援の場面が多くあり、生徒が思考をし、操作する時間が十分に取られていた。
 - ・なぜそう考えたのか。どのように考えたのかを理由を含め表現することの大切さを感じた。
 - ・ボタンを使う具体物操作を、楽しく意欲的に取り組んでいた。とても面白い教材だと感じた。
 - ・規則性の問題において、「その根拠を考えながら式化をする」ことの大切さを感じた。
 - ・生徒の解答に「～っぽい」「～でいい」と意図的に問い返すことで、さらに考えさせていた。
 - ・手を動かし頭を働かせながら、理論を組み立てていく経験を積ませることが大切と感じた。
 - ・中学校の先生方から、小学校で身に付けさせてもらいたいことを聞けて良かった。



4時から夢塾 「空いているスペースへ、走り込め」

第13回「4時から夢塾」を11月26日(火)に、新潟大学附属長岡小学校の込山翼先生から、葛巻小学校6年生80名に、体育の示範授業「ラグビーを簡易化したゲーム」の指導を行って頂いた。指導を簡単に記す。

1 ボール運動の課題

- (1)簡易化のゲームって？…具体的にどう変えたら良いか分からない…。
- (2)技能がなかなか身に付かない！…技能が広がる高学年。どうすれば…。
⇒ただゲームをするのではなく、身に付けさせたい技能を段階的に身に付けていくことで、動きの高まりを実感する授業をめざさねばならない。

2 主張 子どもの実態を基に、単元作りを「楽しい」から「できる」と感じる授業へ！

- (1)仲間との協働が学びの「カギ」！ 学級経営×体育授業！
 - ・仲間との対話で、良い動き方を閃いた。動きを試したら上手くいった。
- (2)「試す→省察→見通す→試す」の学習サイクルで動きの質を高める！
 - ・得点にはチームの連動した動きが大切。おとりやフェイントが有効？
- (3)これからの学びは「見通し」と「振り返り」がキーワードです！
 - ・今日は仲間と動き方を考えることで得点できた。次の時間はもっと得点できる動きを考えたい。

3 本時の学習の流れ 仲間と動き方を話し合い、動き方を仲間と確かめる！

T1：3VS2をやって得点は増えましたか。←ゲームでの動きを比較する。

◎多く得点するための動き方を考えよう。←ゲームシートを基に動きを考える。

T2：ゲームシートを基にチームの動きをつくり試そう。←得点や手応えから動きを省察する。

T3：考えた動きを他のチームで試そう。←振り返りシートで学びを可視化する。

4 ミニ講座

○今日の授業「簡易化されたゲーム」についての説明、そして「子どもの実態&引き出した動き」をメインテーマにして、『体育の授業作りで大切にしたいこと』の指導を頂いた。



<参加者の声>

- ・担任する子どもたちが、生き生きと学習する姿が見られて嬉しかった。集団を動かす細やかな技術、子どもたちの心を動かすトーク等、多くのことを学んだ。
- ・初めて行う活動で、80人をスムーズに動かし、ゲームが流れる様子に触れ、感動をした。
- ・指導から授業は視点を持ち、運動量を確保し、振り返りまで行うことの大切さを学んだ。
- ・作戦会議で考えたものは、実際のラグビーのサインプレーそのもの。それを考えたのは凄い。
- ・テンポ良く端的な指示で、子どもたちが動く中で、課題に気付かせ、運動量を確保していた。
- ・モノ、ヒト、コトの3観点からの解説がとても分かり易く、また指導の中で、知らない運動用具や競技を知ることができ、有意義だった。



込山 翼 先生



12月

科学教育部



《今月の1枚》

葛巻ふるさとセンターイルミネーション

第60回新潟県児童生徒科学研究発表会

見附市児童生徒科学研究発表会で17作品が推薦され、「いきいきわくわく科学賞2024」に応募しました。次の通りに入賞しましたので紹介します。(敬称略、奨励賞は第60回見附市児童生徒科学研究発表会の発表順)

東北電力賞

〈中学校物理・化学の部〉

シャボン玉はなぜ虹色になるのか	見附中学校	3年	小林 朋生
-----------------	-------	----	-------

優秀賞

〈中学校物理・化学の部〉

ふくらむお菓子（ねるねるねるね）を化学で解明 ～クエン酸と炭酸水素ナトリウムの化学反応実験～	西中学校	1年	土田 輝
---	------	----	------

〈中学校生物・地学の部〉

風はなぜ起こるのか ～横型空気移動の仕組みについて～	見附中学校	1年	安原 理桜
-------------------------------	-------	----	-------

奨励賞

〈小学校中学年の部〉

まざるな!!さとう水 ～にじ色のジュースをつくるには～	見附小学校	3年	宇野 衣紀
じ石にくっつくかくっつかないか？	見附小学校	3年	野村 一夏
はこの形の実けん	見附小学校	3年	山谷 純平
紙は水にとけるのか	今町小学校	3年	宮里 和奏
塩の結晶を取り出そう	見附小学校	4年	桶谷 惇人
とうふはなぜかたまるのか	葛巻小学校	4年	長谷美智子

〈小学校高学年の部〉

ライトトラップに集まる昆虫を調べる	今町小学校	5年	種部 橙里 村山 飛龍
沸騰した湯を速く冷やすには どうすればよいか	新潟小学校	6年	齋藤 奏太

〈中学校物理・化学の部〉

大きなシャボン玉を作る実験	見附中学校	1年	目黒里花子
家にある洗剤でいろいろな汚れを落としてみた	見附中学校	1年	山之内和奏

〈中学校生物・地学の部〉

植物の水の吸い方の研究—パート5—	今町中学校	2年	石田 悠真
野草 100%で紙は作れるか	見附中学校	1年	小林 栄太
地震でおこる液状化現象の実験	見附中学校	1年	栗林 玲衣
堆肥の研究 ～生ゴミを変えた微生物～	今町中学校	1年	中西 寛太

見附市の科学研究の内容については、これから各校に配布する「わたくたちの科学研究第 60 集 2024」に掲載しています。ぜひご覧いただき、今後の指導に役立てていただければと思います。過去の「わたくたちの研究」と「いきいきわくわく科学賞」の研究冊子も保管していますので、来年度の研究テーマの設定に、ぜひ活用ください。

科学の公園

空飛ぶゴミ袋

超簡単な熱気球を作ってみませんか。

〈準備〉

高密度ポリエチレン袋45L(縦80cm×横65cm×厚さ0.011mm)、
セロハンテープ、ドライヤー

この3つがあれば、超簡単な熱気球を作ることができます。ポイントは薄さと軽さです。この薄さに近いポリ袋がスーパーでも手に入ります。

作り方は、ポリ袋の空いている部分にドライヤー送風口が入る程度を残して、セロハンテープで密閉して完成です。あとは、写真のようにポリ袋をドライヤーの送風口に装着し、手で押さえながら熱風を送ります。熱風に注意しながら、ポリ袋の内部が十分に温められたと判断したタイミングで手を離すと、ゆっくりと浮き上がります。高密度ポリエチレンの軟化温度が、120℃程度なので、送風口でポリ袋がクチャクチャになることがありますが問題はありません。小4「空気の性質」、中2「気象とその変化」で使用してみてもいいかもしれません。

参考文献 理科の教育 2024年9月号

